

Together we can change the world!

CHANGE
MAKERS

アクションキット

BOOK BETTER WORLD

- 古本を集めて換金して教育の機会を応援しよう！ -

ACTION KIT

世界の子どもと教育



資金調達



物資調達



自己行動変革



ボランティア



啓発活動



政策提言

FREE THE
CHILDREN

教育格差 + 古本募金 =教育の機会を応援

古本を集めて換金して教育の機会を応援しよう！ BOOK BETTER WORLDでは、お家に眠っている読まない本を集めてお金に変える事で、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの支援地域の子ども達に学用品を届ける事ができます。学校に入学できても、家庭としてお金がかかる学用品が原因で、退学してしまうこともあるため、アクションに参加して、学校に通い続けるチカラとなろう！



世界の6歳～14歳の子どものうち学校に通えていないのは...

- ・約1億2100万人（うち初等教育では約5900万人）です。
- 基礎教育を受けられなかった結果、現在もおとなの6人に1人、約7億7,300万人が文字の読み書きができません。

目標

3,000円＝



制服や文房具などの
学用品1セットを届けられる！



このキットは、アクションを起こすための基本的な4つのステップを踏みながら行動を起こせるようになっています。仲間と一緒にアクションを起こせる内容ですが、1人でももちろん大丈夫！
私たちフリー・ザ・チルドレンも、1人の少年のアクションから始まりました。

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンとは

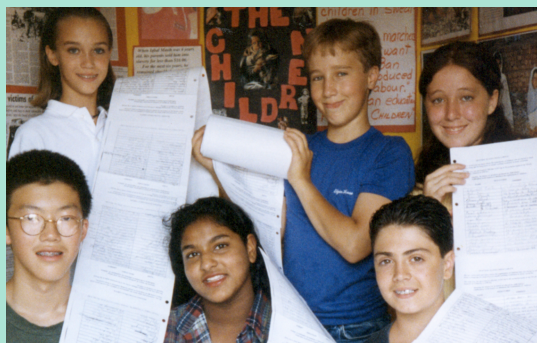
1995年、ひとりの12歳の少年クレイグから始まったフリー・ザ・チルドレン。「子どもになんか何もできないよ」「おとなになってからやれば」と、活動を始めた当初クレイグは周りからそう言われました。

でも、「子どもだって変化を起こせる。子どもだからこそできることがある。」と信じて活動を続けたところ、だんだん仲間が増え、これまでに45か国以上で390万人の子どもや若者が活動に参加し、その結果、開発途上国に1,500校以上の学校を建設しました。

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、この理念に共感し、1999年に活動を開始しました。

「子どもや若者は助けられるだけの存在ではなく、自身が変化を起こす担い手である」という理念のもと、子どもや若者が自分の持つ力を発揮して、より良い世界をめざし行動を起こせるよう環境づくりに取り組んでいます。

写真：クレイグ（上段中央）と一緒に活動を始めたクラスメイト



もくじ



ステップ1

問題やアクションに必要なことを調べよう！

- 03 ストーリーで知る「世界の子どもと教育」
- 04 数字で知る「世界の子どもと教育」、調べ学習のヒント
- 05 調べ学習まとめ
- 06 BOOK BETTER WORLD アクションの基本ステップ



ステップ2

目標を決めてアクションの計画を立てよう！

- 07 ゴールを決めよう／アクションのアイデアを出そう
- 08 必要なことを整理しよう
- 09 役割分担をしよう／危機管理を考えよう
- 10 スケジュールを確認しよう



ステップ3

TAKE ACTION! アクションを起こそう！

- 11 活動をやりきるアドバイス/活動する時に守ってほしいこと
- 12 活動中の記録を取ろう



ステップ4

アクションを振り返り、報告・お祝いしよう！

- 13 アクションを振り返り、報告・お祝いをしよう！



ワークシート

- 14 ワークシート4種類



ステップ1

問題やアクションに必要なことを調べよう！

◆ストーリーで知る「世界の子どもと教育」

ケニアのボムット群にある小さな村で生まれた少女、ミルカのお話を読んでみよう。

ミルカは、6人兄弟の5番目として育ちました。母親のロノはトウモロコシ農家ですが、小学校を卒業した数少ない女性の一人で、地元の小学校で教師のアルバイトもしていました。そのため、「教育をちゃんと受けたから小学校の先生として働ける。もっと教育を受けていたら、できることが増えるのよ！」と、よく聞かされていました。この地域では、ひと世代前には、小学校教育を受けられる人もあまり居ませんでした。子ども達に良い教育を受けさせたいと思っても、小学校には、教材や教室が十分にありません。高校も少なく、あったとしても授業料が払えない親が多く、どの子を学校にやるか選ぶため、家事の担い手である女子は、取り残される傾向にありました。1999年にこの地域でフリー・ザ・チルドレンが、教室建設・教員育成・教材提供などの支援活動をはじめ、質の高い初等教育を受けられる機会が増えていきました。

「学校が大好き。色んなことを学びたい！」

ミルカは学習意欲が高く、高校に進学することを夢見ていましたが、学校を欠席することが多くありました。両親は、農作物の販売とパートタイム教師の収入で6人の子どもを食わせて、学校にも行かせていました。ケニアの初等教育は無償ですが、それでも制服や学用品、受験費用の支払いもありました。また、高校は無償ではありません。ミルカが5年生の時には上の兄弟2人が高校に行っていたので、経済的な負担はすでに大きかったのです。そのため、ミルカは試験の受験費や学用品の支払いができず、学校に通えないことが度々ありました。両親は、他の農場でも働きましたが、それでも足りませんでした。欠席した分に追いつくため、ロノは仕事が終わってから熱心に子ども達に勉強を教えました。ミルカが8年生になるまでに、家族みんなでどうにかお金を貯め、彼女は卒業試験を受けることができました。トップクラスの成績を収め、学校から表彰もされました。しかし、ミルカは喜ぶことが出来ませんでした。小学校を卒業出来ても、高校に進学する金銭的余裕は家になかったからです。その頃は、毎晩のように泣いていました。

そんな時、隣人からキサルニ女子学校の存在を聞きました。ミルカは、希望を持つことさえ怖かったものの、勇気を出して入学できるかどうか尋ねに行きました。すると、優秀な成績を収めていたこともあり、授業料全額免除の奨学金を得ることができました。キサルニの責任者であるジョアフ・バサロは、経済が成長、発展していくために最も効果的な方法は女子教育であると信じています。「教育を受けた女子が、多くの障害を取り払い、貧困と無教育の連鎖を断ち切る鍵となります。そして学校に通うことで、女の子たちの夢は更に膨らみます。」そうジョアフは言います。

ミルカの夢は外科医になることです。学校の図書館にあった古い雑誌に書かれていたカーソフ医師（現在はアメリカの政治家）を目にしたのは、ミルカがキサルニに入学して間もない頃でした。貧しい家庭に育ったカーソフが、子どもの頃に起こった数々の苦難を乗り越え、世界的に有名な神経外科医になり、遂にはアメリカの住宅都市開発長官にまで上り詰めた話に触発され、ミルカはそれまで以上に努力するようになりました。毎朝1時間早く起きて予習をし、週末も勉強に時間をさきました。この努力は報われ、ミルカは、高校全国統一試験でB+という成績をとったのです。この成績なら、十分、政府が全額提供する奨学金で大学に行くことができます。既に、ケニアにある複数の大学に願書を提出し、そのうちのどこかに今年入学予定です。ミルカは、両親の夢や教え、彼女自身の懸命の努力等、すべての経験が目前の問題に立ち向かう力をくれたと言います。彼女は、この地域の“女性の神経外科医第一号”になって、女の子だって大きな夢をもてると思わせるような存在になりたいと強く思っています。



(写真) ミルカ・チェプクリイ (2018年撮影)

◆数字で知る「世界の子どもと教育」

世界では...

- ・世界の6~14歳の子どものうち約9,400万人が、学校に通えていません。*
- ・世界の子どもの12人に1人にあたる約5,900万人が、小学校に通えていません。*
- ・小学校に通えない子ども5,900万人のうち、男の子が約2,700万人、女の子が約3,200万人です。*
小学校に通えない子ども5,900万人のうち、3,200万人はサハラ以南のアフリカ地域に暮らしています。*
- ・難民の子どもの小学校の就学率は68%で、世界の小学校就学率91%に比べ大きく下回っています。**
- ・基礎教育を受けられなかった結果、おとなの6人に1人、約7億7,300万人が文字の読み書きができません。
(UNESCO Institute for Statistics 2017)

*New methodology shows that 258 million children, adolescents and youth are out of school, UNESCO Institute for Statistics, 2019

**Staying The Course: The Challenges Facing Refugee Education, UNHCR, 2021



こうした状況に対して、
SDGs（持続可能な開発目標）では...



「すべての人が公平に、良い教育を受けられるように、
また一生に渡って学習できる機会を広める」ことをゴール4で掲げている。

- ・すべての人が基礎教育(小中学校)を受けられるようにする、教育の環境を整える。
- ・若者や大人がより良い仕事が得られるように職業訓練などの教育を受けられるようにする。



ワンポイント 調べ学習参考サイト

SDGs

SDGs /国際連合広報センター https://www.unicef.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

JAPAN SDGs Action Platform / 外務省 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>

SDGs17目標と169ターゲット /UNICEF <https://www.unicef.or.jp/sdgs/target.html>

子どもの権利

子どもの権利条約 /フリー・ザ・チルドレン・ジャパン <https://ftcj.org/we-movement/childrights>

子どもの権利条約 /UNICEF https://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_rig.html

教育

農村自立支援-教育- /フリー・ザ・チルドレン・ジャパン <https://ftcj.org/freethechildrenprogram/overseas/education>

SDGs4教育キャンペーン2021 /教育協力NGOネットワーク <https://www.jnne.org/sdg2021/>

世界の子どものストーリー（教育）/UNICEF https://www.unicef.or.jp/children/children_now/select.html?tag=kyoiku

◆調べ学習のまとめ

調べたことをもとに、問いに自分の考えを答えてみよう！

子ども達が学校に行けない理由はなんだろう。また、女の子が、男の子よりも学校に通うことができていないのはなぜだろう。どうしたら、みんなが通えるようになるのかな？

学校に行けなかったら、自分は何をする？生活/人生はどう変わるだろう？

教育は貧困解決の鍵だとも言われているが、それはなぜだろう？

学用品(文房具/制服)の提供により、子どもやその家族にどんな変化が起きるだろう？

日本から物を届けるのではなく、資金を集めてお金を送り、現地で学用品を調達して提供する理由（そうすることで起きる良い影響）はなんだろう？

BOOK BETTER WORLD アクションの基本ステップ

1. 古本を集める

利用する古本の買取業者を決めて、集められるものを確認する

買取業者によって集めているものも異なるので、先に決めて確認しておこう！

集め方を工夫する

家の大掃除で家族と協力、友達と持ち寄る、学校で呼びかけて、など方法は様々！

呼びかける時も、みんなに楽しく参加してもらえるように工夫してみよう。

2. 買い取り業者へ販売し、換金する

買取業者に店舗に持って行く、または集荷を依頼する

買取業者によって、買取の方法も異なるので、確認して、説明に沿って行おう。



FTCJ連携企業

本棚お助け隊「古本チャリティ募金」

ウェブサイト <https://hondana.biz/charity-apply/>

本の買取金額に、+10%以上の上乗せをして、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンへの寄付になる！（着払い/元払いで上乗せのパーセンテージが変わるので、詳しくはウェブサイトを確認しよう。）本棚お助け隊から直接団体へ寄付として送られるので、自分ではお金のやり取りの必要がなくて安心だよ。（寄付金額はメール/電話で本棚お助け隊から連絡）



3. お金を寄付する

集まったお金を、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンまで届ける

※「古本チャリティ募金」を利用する場合は、お金のやり取りは自身では必要ないよ！

送金する	事務局に持参する
銀行振込 三菱UFJ銀行 上野支店 普通 5360502 トクヒ) フリー・ザ・チルドレン・ジャパン 郵便振替 00120-5-161532 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン ※振込手数料が、寄付額と別でかかるよ。 "手数料を差し引いて振り込む"を選んだ場合は、 実際に届いた金額が寄付金額になるので注意しよう！ 振込情報を登録する（必須） https://ws.formzu.net/fgen/S9155716/	住所 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山6-6-5 3F 受付 平日12時-19時 ※必ず事前に希望の日時を連絡して、 その日で大丈夫なことが確認できてから来てね！ 連絡先 info@ftcj.org 件名 「寄付持ち込みについて」





ステップ2 目標を決めてアクションの計画を立てよう

問題について学んだら、アクションのゴールを決めよう！3,000円で学用品1セット。何セットの提供を目指すかは自分次第！教育の機会を応援するために挑戦してみよう！

アクションのゴール

- ・いつ、どれくらいの期間実施する？　〔開始日〕 _____ 〔終了日〕 _____
- ・何人がこの活動に参加する？（メンバーの数） _____人　（提供者の数） _____人
- ・メンバー1人1人のゴールは？
（例：「1人10冊以上集める」「集めた古本の換金金額1人1,000円以上」など）
_____ 円 / 冊（どちらかに○）
- ・グループで、
_____ 円（学用品 _____ セット分）を集める。

なぜならば...

なぜ、教育問題解決のために活動するのか、なぜ古本募金を通じて行うのか、自分自身の理由を記しておこう！



◆本の集め方のアイデア（工夫すること）を考えよう

どこで・どうやって集める？個人で？グループ内で持ち合う？周囲に広く呼びかける？

興味を持ってもらえるように、こんな装飾をしてみよう！各教室を回って宣伝するときこんな声かけをしよう！など、思いついたアイデアは、どんどん書いておこう。



(アイディア×モ続き)

◆必要なことを整理しよう

アクションを起こす上で、味方になってくれる人/助けになってくれる組織は誰だろう？

友達、先生、家族、地域の政治家、NPO団体、企業など、考えられる人や組織を書き出そう。

その他、すべきことはなんだろう？必要な資材などは何があるだろう？

こと	もの	ひと



◆役割分担をしよう（グループで活動する場合）

行うことに対して担当する人（責任を持つ人）を決めておくと、円滑に活動ができるよ。

考えられる役割を書き出して担当者を決めよう。例えば、ポスターやチラシを作る、先生に許可を取る、集まった本を管理する、古本業者を調べる・連絡を取る、などなど、他にも様々な役割があるよ。

役割	担当する人

◆危機管理を考えよう

アクションを進めていくと、壁に直面することもある。事前に対応策を考えておくと、実際に何か起こった場合もスムーズに解決することができるよ。

例えば、目標の金額が集まらなかったら、どうする？アクションの期間を延長する？他の方法で足りない分を集める？どんな方法で？「これだ！」という対応策を決めておこう。

考えられる困難	対応策

◆スケジュールを確認しよう

ゴール達成に向けて、いつ何を行うのか、計画を立てよう。大切な日付（アクションプランニングをしている今日、目標達成日、学校の行事などに合わせる場合すでに決まっている日程など）を先に書き、達成させるために必要な行動を書き埋めていこう。



ステップ3 TAKE ACTION! アクションを起こそう！

遂にアクションをおこすとき！

活動中の写真や現状を発信しよう。

SNSで発信する時は、ハッシュタグも忘れずに。

アクションが上手くいかず、モチベーションが下がってしまった時には、調べ学習で感じたことや、目標を立てた時の想いに立ち戻ろう。

～活動をやりにきるアドバイス～

- ・楽しさを取り入れよう。
例：ミーティングの最初にアイスブレイクゲームをしてみよう。
- ・活動の成果に途中途中で目を向けて、成果を実感していこう。
- ・お互いに頑張っていること、よかったことを言葉にして伝えよう。
- ・無理なく実施ができているか、時と場合に応じて計画は見直そう。

&楽しむことを忘れずに！



共通ハッシュタグ

#BOOKBETTERWORLD_Action

#チェンジメーカーアクション

#FTCJ

活動する時に守ってほしいこと

1. 多様性を認め合い、年齢、人種、宗教・信条、民族性、障害、性的指向、外見を基準に差別や相手を傷つけるような言動・暴力はせず、それぞれの個性を尊重する。もし意図せず相手を傷つけてしまったら、立場に関係なく気持ちを込めて謝罪をする。
2. 熱中症や感染症対策、交通機関のルール確認、避難経路の確認など、健康や安全に配慮する。
メンバーの顔写真や名前などの個人情報を本人の許可なく無断でSNSに載せない。
3. 活動を通じて知り合ったおとなや子どもと、活動と無関係な理由で頻繁に電話やメールをしない。
困ったらすぐに先生やおとなに相談する。
※FTCJ相談窓口もあるので連絡してね。soudan@ftcj.org
4. 子どもとおとなは密室で2人きりにならない。
やむを得ない場合は窓やドアを開けて話し合いをしよう。
5. お金の貸し借りはしない。
活動にお金が必要な場合は、どのように集め・管理するかしっかりと話し合ってから決めよう。

※子どもの権利条約に従い、「子ども」とは18歳未満と定義しています。

18歳未満の子どもは、権利を持つ主体と位置付けられ、おとなと同様ひとりの人間として尊重し子どもの権利を保障するとともに、成長の過程で特別な保護や配慮が必要と考えています。



◆活動中の記録を取ろう

次の活動につなげるためにも活動中に感じたことや成果は記録をしよう。

振り返り/ポートフォリオ用ワークシートもあらかじめ見ておこう！



ワンポイント

記録することをおさえておこう！

成果の記録

- ・ アクションを実施した期間（日数）
- ・ 設定した数値目標に対する結果（協力者数や成果の数値）

過程の記録

- ・ 成果を出すために、どのような行動を起こしたか。（簡単だったこと、難しかったこと）
- ・ 一番楽しかったこと、印象に残ったことはどんなことか。
- ・ 地域の人たちは活動に参加してくれたか。
- ・ 次回行うとしたら、改善したいことはなにか。
- ・ このアクションでどんな影響を与えることが出来たと思うか。

写真/映像 の記録

- 写真や動画を撮れる場合は、今後の活動や広報・報告に使えるよう、以下を記録しよう。
- ・ 活動中の様子（ミーティングや本番）
 - ・ 活動場所の様子、準備したもの、成果物
 - ・ 活動が掲載されたメディア（新聞記事など）

活動中に気づいたことを記録しておこう



ステップ4 アクションを振り返り、報告・お祝いをしよう！

アクションの実施おめでとう！

アクションを起したら、次に繋げるためのこの重要なステップに取り掛かりよう！

◆アクションを振り返ろう！ ワークシート

個人で・グループで、活動中に記録したメモを元に活動を振り返り、経験だけで終わらせず、“学び”にしよう。振り返りのワークシートを活用して、ポートフォリオとして保存し、今後に活かしていこう。

◆アクションを報告しよう！

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンに活動報告はしましたか？

みんなのアクションが集まれば、そのチカラはより大きくなる！忘れずに報告を送ろう！

-報告フォーム-

<https://ftcj.org/we-movement/westory>



フリー・ザ・チルドレン・ジャパンに活動報告すると何があるの？

1. 毎年3月に開催しているイベント

Change Makers Fesに無料招待（25才以下）

国内外の社会課題に対してアクションを起した子ども・若者を無料招待し、その活動を祝い、発展に繋げるライブイベントChange Makers Fes（チェンジメーカー・フェス）を3月に開催しています！子どもや若者世代が主役となって誰一人取り残されない持続可能な社会をつくるムーブメントに、あなたも参加しませんか？

<https://ftcj.org/changemakersfes>



2. 毎年春に発刊される

「ソーシャルアクションレポート」への掲載

毎年、3月1日から翌年2月末までのアクションの報告をまとめたレポートを発行しています。

集まった報告から、寄付金額やボランティア時間の合計など、インパクトも発表しています。一緒に子ども若者のソーシャルアクションを日本で大きくしていきましょう！



3. 希望者には、活動証明証を発行（メールでデータでのお渡し）

活動証明証の発行が必要な場合は、活動報告フォーム内で申請を受け付けています。（報告には活動中の写真の提出必須。）

〔活動証明書希望入力欄〕

教職員の方がクラスを一括で申請の場合：

発行を希望する全員の名前のみ必要です →まとめて発行

その他グループや個人で活動して申請の場合：

発行を希望するメンバー全員の

名前・生年月日・メールアドレスが必要です →個人へ発行

◆アクションをお祝いしよう！

アクションの成功をお祝い・そして周囲に共有して、頑張った自分を称えよう！

- ・活動をまとめたポスターを作成して、掲示する
- ・活動中の写真や動画記録を作って学校のウェブサイトでも発信する
- ・活動を報告スピーチを全校集会やホームルームで行う
- ・活動をお祝いする賞状（活動終了証）を送る
- ・アクションをお祝いするイベント（報告会）を開く
- ・Change Makers Fesに参加する！

◆アクションを続けていこう！

SDGsを達成するためには、一人一人が継続してアクションを続けることがとても重要です。この成功体験を活かして、これからも活動を続けていこう！



ワークシート

切り離して使えるワークシートを用意しました！
必要な場合は、コピーをして繰り返し考えるのに使おう！

ワークシート①「アクションを振り返ろう！」

BOOK BETTER WORLD ACTION KIT ワークシート①
アクションを振り返ろう！

記入日： _____

名前： _____

取り組んだ社会問題 _____

関係するSDGsゴール _____

なぜこの社会問題に取り組んだのか _____

実施したアクションの内容 _____

なぜこのアクションなのか _____

実施期間： _____

期待の成果： _____

協力者： _____

達成度： _____

振り返り

目標達成に向けて、あなたが/チームが工夫したこと、達成できたこと _____

困難だったこと、どう乗り越えたか、次回行きたいこと、改善すること _____

このアクションを通じて、学んだこと _____

ワークシート②「活動修了証」

CHANGE MAKERS
アクションキット

Congratulations!

BOOK BETTER WORLD ACTION KIT 活動修了証

殿

あなたは、チェンジメーカー・アクションキット"BOOK BETTER WORLD ACTION KIT"を活用し、
社会問題を学び、解決のためのアクションを考え、実行しました。
ここに一通の活動を終了したことを記します。
引き継ぎソーシャルアクションを続けていきましょう！

活動期間： _____

取り組んだ社会問題： _____

超えたアクション： _____

一緒に活動したメンバーからの寄せ書き

Together we can change the World!

ワークシート③「チラシ/ポスター」

白枠のスペースに、仲間の募集や本の募集などの
情報を書いて、チラシやポスターとして活用しよう！

CHANGE MAKERS
アクションキット

BOOK BETTER WORLD ACTION

教育格差 + 古本募金
=教育の機会を応援

フリーのスペース

特定非営利活動法人フリー・ザ・デジタル・ジャパン
〒157-0002 東京都目黒区目黒4-5-30 TEL 03-6321-0948 Email info@frcj.org HP http://frcj.org

ワークシート④「達成度チェックシート」

お金が集まったら、その分色を塗って、
目標達成度合いを確認するのに活用しよう！

CHANGE MAKERS
アクションキット

BOOK BETTER WORLD ACTION

学用品セット割込分を目標に7冊をつけてください。
お金が集まったら、その分色を塗って、目標達成度合いを確認しましょう！

達成度チェックシート

7冊を目標に、色を塗って確認しよう！



アクションを振り返ろう！

振り返り&ポートフォリオ用シート

記入日：_____

名前：_____

取り組んだ社会問題

-関係するSDGSゴール-

-なぜこの社会問題に取り組んだのか-

実施したアクションの内容

-なぜこのアクションなのか-

実施期間：

数値的成果：

◆お金の寄付：

◆物の寄付：

円

個

◆ボランティア時間：

◆インパクトを与えた人数：

時間

人

◆その他：

集めた本の数：冊

本を提供してくれた人数：人

協力者：

支援先：

振り返り

-目標達成に向けて、あなたが/チームが工夫したこと、達成できたこと-

-困難だったこと、どう乗り越えたか、次回行うとしたら、改善すること-

-このアクションを通じて、学んだこと-

CHANGE
MAKERS

アクションキット

Congratulations!

BOOK BETTER WORLD ACTION KIT 活動修了証

殿

あなたは、チェンジメーカー・アクションキット"BOOK BETTER WORLD ACTION KIT"を活用し、
社会問題を学び、解決のためのアクションを考え・実行しました。

ここに一連の活動を終了したことを記します。

引き続きソーシャルアクションを続けていきましょう！

活動期間： _____

取り組んだ社会問題： _____

起したアクション： _____

一緒に活動したメンバーからの寄せ書き

Together
we
can
change
the world!

CHANGE
MAKERS

アクションキット

BOOK BETTER WORLD ACTION

教育格差 + 古本募金
=教育の機会を応援



FREE THE
CHILDREN

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山6-6-5 3F | TEL 03-6321-8948 | Email info@ftcj.org | HP <http://ftcj.org>

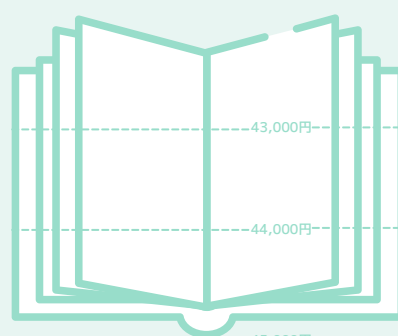
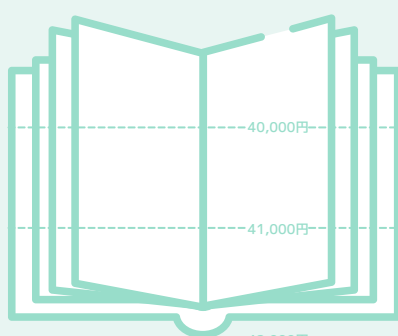
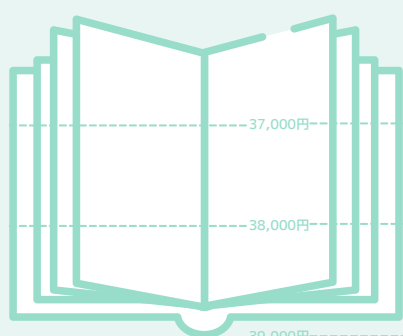
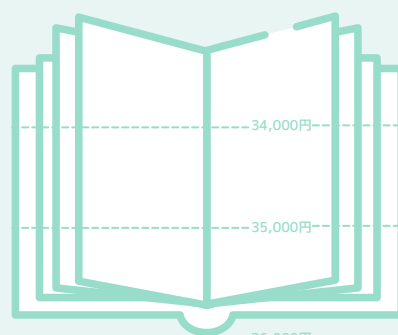
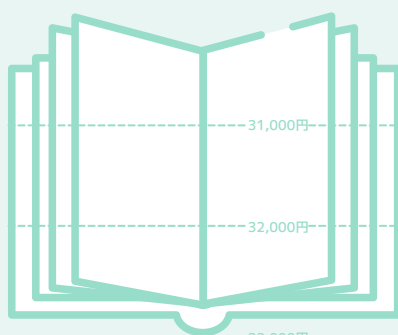
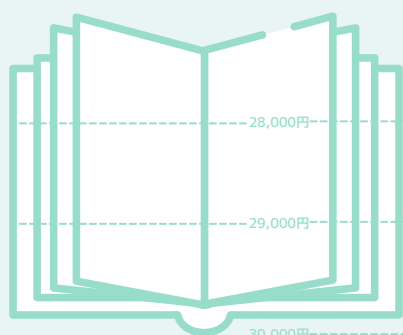
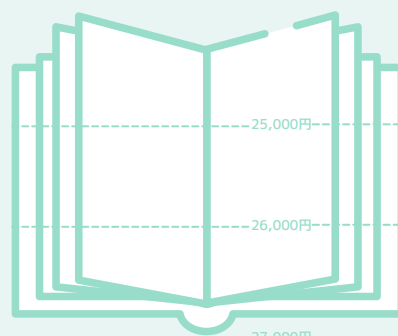
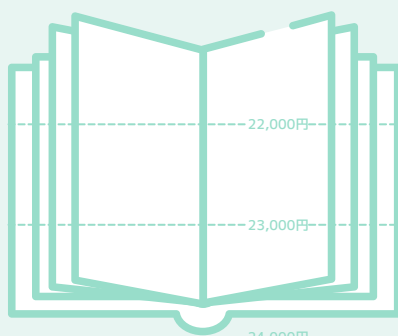
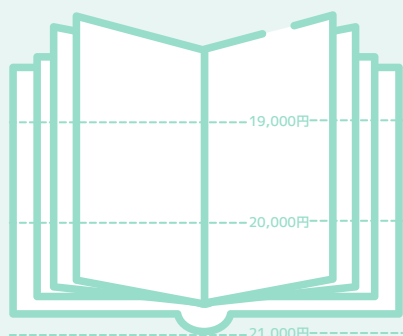
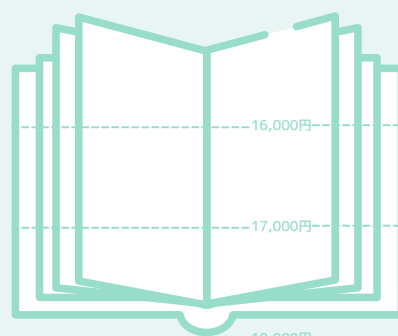
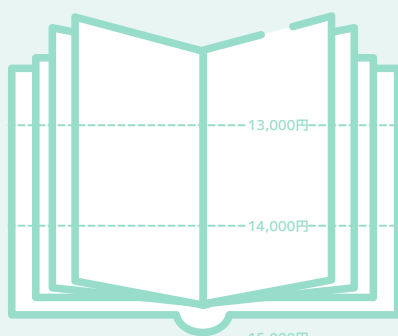
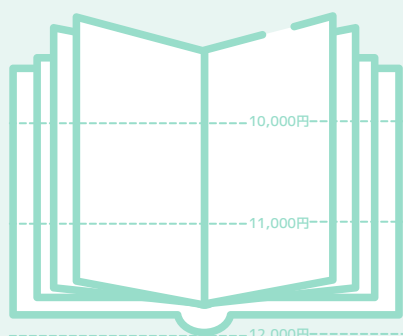
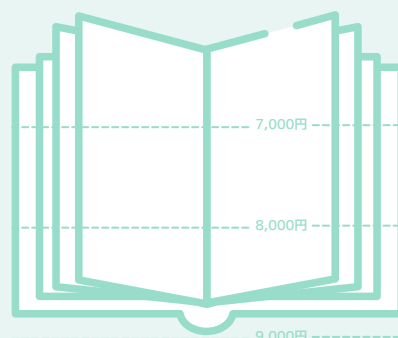
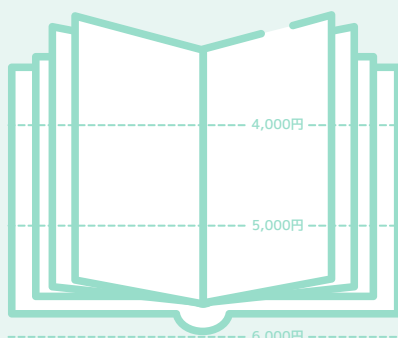
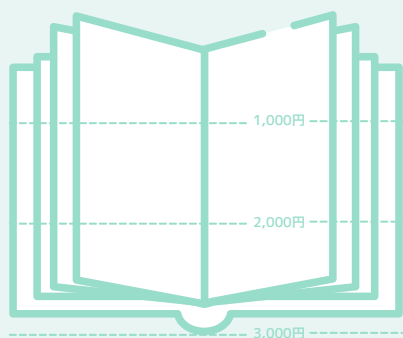
CHANGE
MAKERS

アクションキット

BOOK BETTER WORLD ACTION

学用品セット何個分を目標にする？印をつけておこう。

お金が集まったら、その分色塗って、目標達成に向けて現状を確認しよう！



切り
取り

もっと枠が必要な場合は、コピーをして使ってね。

FREE THE
CHILDREN

認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
〒157-0062 東京都世田谷区南烏山6-6-5 3F
TEL 03-6321-8948 Email info@ftcj.org
HP <http://ftcj.org>

＼アクションキット以外もお探しの方はこちら！／

FTCチェンジメーカー教育プログラム



<https://ftcj.org/we-movement/changemakerseducationprogram>



4つのステップのサービスラーニングで社会問題を学ぶ・実践する・振り返る！

FTCチェンジメーカー教育プログラムは、子ども・若者一人ひとりが社会問題を自分ごととして捉え、問題解決に向けたアクションを起こせるようにフリー・ザ・チルドレンが開発したサービス・ラーニング（※）教育プログラムです。
※サービス・ラーニングとは、社会科教育学専門の筑波大学唐木清志教授によると、「地域社会の課題解決を目指した社会的活動（サービス活動）に子どもを積極的に関与させ、子どもの市民性（シティズンシップ）を発達させることをねらいとした1つの教育方法」を意味します。

新学習指導要領に則り、SDGsの達成、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンが目指す社会である「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、地域社会や国際社会の課題解決のための社会的活動を、4つのステップ＋6つのアクションで実践することができるようデザインされています。

出前授業・講師派遣



<https://ftcj.org/we-movement/facilitator>



FTCチェンジメーカー教育プログラムの考えをベースに、出前授業を設計！

- ・「社会問題理解」＋「アクションを考える」が基本の形。問題を知るだけでなく、自分とのつながりや地球規模で考え、個々人の特性を生かしたアクションへつなげます。
- ・「権利ベース」での社会問題の理解を深めます。“かわいそう”ではなく、同じ地球市民として国連が定めた「人権」「子どもの権利」から問題解決を探ります。
- ・SDGsの理解、オリパラ教育、世界全体の格差問題から、児童労働、貧困問題、医療の格差、環境破壊、差別、障害者理解など様々なワークショップ（参加型学習）の実施ができます。
- ・100種類近くあるプログラムから対象者・学習目的に合わせて授業内容を提案します。

メンバー登録・メルマガ登録

無料のメンバー登録、月2回のメルマガ配信

<https://ftcj.org/we-movement/we-channel>



-助成-



このアクションキットは、「大東建託グループみらい基金」のご支援によって作成することができました。
誠にありがとうございます。

